

株式会社 富士山マガジンサービス

株式会社ちよこっとワークへの投資 & 持分法適用会社化について

2024年2月6日(火)



本件投資の背景

- 倉庫における配送・仕分けオペレーションの効率化

従来 ：必要な時に、必要な作業員を都度集める → **コスト高**
今回の提携後 ：すでにその場にいる人材に作業を委託する → **コスト削減**

- 高齢者の活用による社会貢献・潜在的な雑誌購読者の開拓もできる
- 当社の元従業員（アルムナイネットワーク）からの提案実現第1号
→ 「出戻り」のしやすい会社環境づくりによる採用コスト低減

ちょこっとワーク
サービス紹介

ちょこっと
WORK

www.chokottowork.co.jp

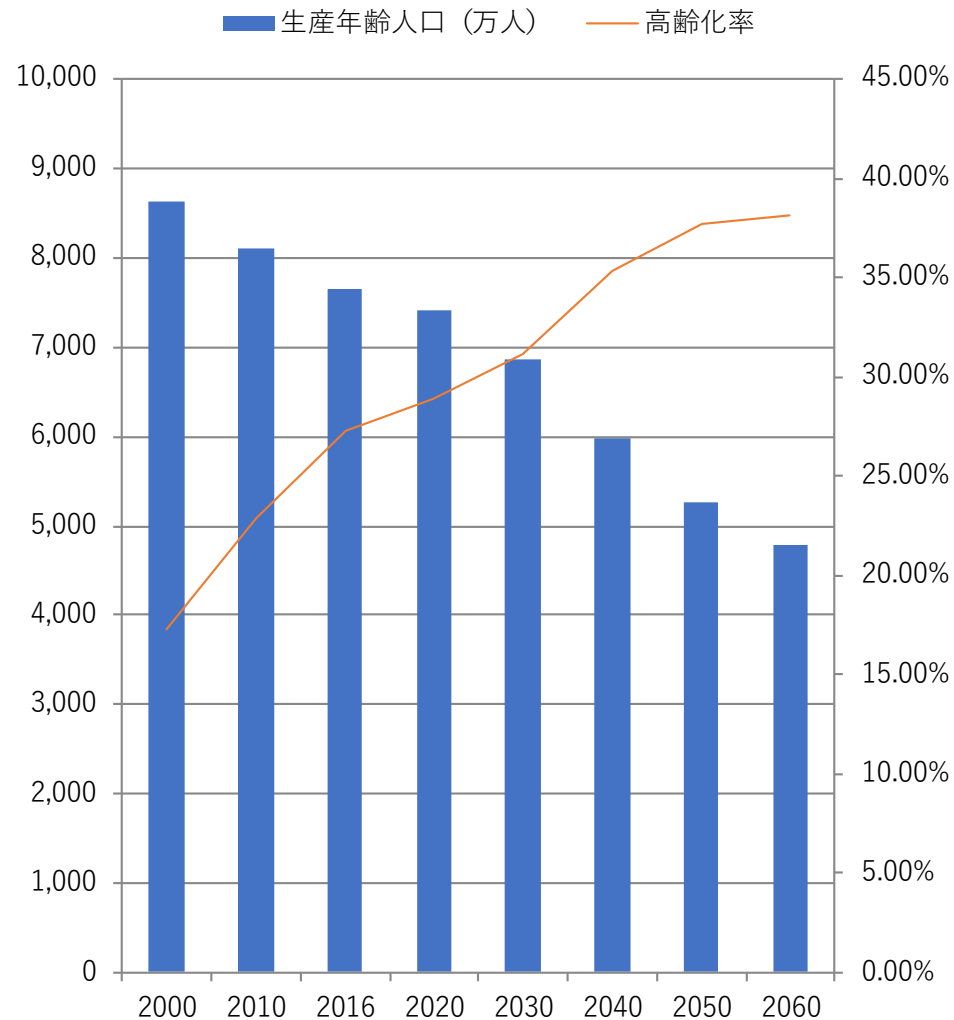
ちょこっと
WORK

株式会社ちょっとワーク (CW) 概要

- 会社名 : 株式会社ちょっとワーク
- 所在地 : 東京都板橋区高島平2-33-1-103 高島平壺番街
- 代表 : 代表取締役 高野 剛
- WEB サイト : <https://www.chokottowork.co.jp/>
- **ノルマなし シフトなし 仕事経験必要なし 年齢関係なし**
 - 子育て中の方もお歳を召された方も、空いた時間に「ちょっと」寄って仕事をしてもらいたい。いろんな方が楽しく仕事できて、たくさんの方と出会い、今よりも「ちょっと」充実してもらいたい。
 - そんな想いで始まったスペースです。それぞれの事情で働けていない方々が気軽に労働参加できる仕組みにより、活動的な生活を送り、健康寿命を延ばすことで社会課題を改善する事を目指しています。また、お仕事を依頼されるお客様にも業務の効率化及び費用削減を提案します。



高齢化及び生産年齢人口の推移



2016年→2060年

生産年齢人口	37.4%減少
高齢化率	10.9%上昇

高齢者世帯

単独世帯	26.3%
夫婦のみの世帯	31.5%

人口一人当たり国民医療費 介護

65歳未満	18万円
65歳以上	74万円

	要支援	要介護
65～74歳	1.4%	3.0%
75歳以上	8.8%	23.3%
介護者は子または子の配偶者で33%		

対策として以下の点が重要

「健康寿命を延ばす」

「働いていない層の労働参加」

資料：2015年までは総務省「国勢調査」、2016年は総務省「人口推計（平成28年10月1日確定値）」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果



ちよこっとワーク起業経緯

◆ きっかけ

身内の孤独死や介護を経験し、寂しい晩年を切なく感じました。

「人と関わって豊かに暮らしてもらいたい。」その思いから企画が始まりました。

◆ 「交流できる場」を作り出せないか？

趣味に関連するようなサービスでは、対象も限られ費用がネックになってしまう。

『仕事』をテーマにすることで、給料が支給されるので参加者の金銭面でのハードルが下がる。

高齢者に限らずに幅広い世代の参加が期待されるので、交流の場としては価値が高い。

休憩スペースの充実、健康維持のトレーニング器具の設置、イベント開催など、『仕事』を軸に集まった人たちの多世代間の交流を促進する。

◆ 国等の財源などに頼らず、持続可能な事業として参加者が『仕事』を通して生み出す価値(財源)で事業(交流の場)を両立させる。



ちよこっとワークの業務

◆ 業務内容

- ・ 試供品や製品の箱詰めや袋詰め作業、雑誌や書籍の封入作業及び宛名シール貼り、販促用のPOPなどの組み立てなど、人の手が必要な軽作業の受託を行っています。
- ・ 今後は、定期購読雑誌の受け渡し販売を行う予定をしています。

◆ 強味と今後の展望

- ・ 団地内外の近隣に住む作業スタッフを多く確保しており競合他社を圧倒する処理能力と仕事量の変化に応じたフレキシブルな対応ができるように、労使の契約形態に双方が納得するスキームで結ぶことで、納期等の顧客ニーズに応え信頼を得ています。
- ・ 増床によって更に多くのスタッフに働く場を提供することで、作業体制が更に強化されます。
これに伴い、今以上の処理能力を実現し受注機会を拡大することで新たな雇用を地域に創出することを目指します。

◆ 品質

作業に参加する作業スタッフの多くが、『ちよこっとワーク(仕事と交流の場)』の存在を大切に考えていることから、この場の維持・成長の為に品質への意識は高く維持されています。



交流の場としてのちょっとワーク

◆ 現状

仕事を始める2時間前頃から複数人が集まり、各々の志向に沿った活動をしている方が多いです。例えば、動画を見ながらエクササイズに取り組んで健康増進を図ることや、ビンゴ大会や誕生会、食事会等を通して交流を促しています。このように『仕事』に限らない取組みを行うことで多様な世代の交流の輪が生まれ地域コミュニティの形成に一役買っています。

扱う商品の特性上、作業エリアと交流エリアの区画をする必要がある。しかし、現状では参加希望者の増加に伴い、双方を両立させるスペースが不足していることから、交流の機会を創設することができにくい環境になりつつあります。

また、この取組みに関心を抱き参加を希望する地域住民からの声を多く頂いているが、現状では上記理由により参加者を募れない状況にあります。

◆ 増床⇒コミュニティスペースの常時設置

『仕事』に依存しないコミュニティ形成を目指した活動に取り組んで行きます。例えば、シェアキッチンを設置することで仕事が無い日であっても高齢の方から若年世代へ料理・家事等のワザを継承することや、月に数回の食事会を行うことで深い多世代交流を図る取組みを実践していきます。



参加者の声

50代女性 親子で参加

利点

1. 効率良く、規則正しい生活リズムができていた。… 免疫 (↑)
2. 活動できる時間が増えて 動けず場所に行けなかった。
3. 楽しく仕事ができたと。… これが一番 前向きになる。ストレス減り = 免疫
4. 皆様と共に過ごせた時間 = イクスにしていけます。
5. 社会に参加させていただけのこと。「感謝」です。

60代女性

定年退職後、厳しい就労状況でレレ然、同地に任んで13
姉から教えてもらい来てみました。

夫の人達でビックリ！レレレレが、初めての私に、色々お教えてくれて
うわしかったです。スレぶりにイキイキした気分になりました。
又、新たな生活リズムが出来て、楽しい毎日を過ごしました。

60代女性

ちょっとWORKで働かせて頂いての一番は、やはりお金を頂けた事
です。スレぶりのお給料、とても嬉しく思いました。

場所が家の近所で通いやすく、帰りに買物ができとても便利でした。
最近人と接する機会が少なくなりましたが、新しく知人ができ
他者とも話しで盛り上がり、共感しながら楽しい会話ができました。
女性にとってのおしゃべりはストレス解消の一つです。
特に外出自費に払った今は「いいいい場」でもありました。

70代女性

年令的に仕事は諦めて、単体作りの為運動を中心に動いていましたが、思っから
この仕事で戦え、感謝していました。

仲間との会話、一緒に仕事をしていると言う事で生々甲斐を感じていると同時
時に社会参加が出来ると感じ、心身共に健康になった気持で、生活にも張りが出て、
スレぶりに朝のタイムをかりたり、現役に戻った気がしています。

コロナ禍により休業を余儀なくされた際にいただいた参加者の声です。

サービス再開後も参加者は増加し、たくさんの賛同を頂いています。

単にお金を得る手段ではなく、当社の社会的意義に賛同していただいております、
多くの参加者にとって替えのきかない大切な場になっています。



ちょこっとワーク コミュニティ

◆ 参加者獲得

スペースの拡大に伴い、作業席数・仕事量の増加を行うと共に、休憩スペースやイベントを充実させることで、多くの参加希望者への機会の創出を促進します。
現在 80人 ⇒ 2024年 160人(目標) ⇒ 2026年 250人(目標)

◆ 地域の価値をあげるコミュニティとしての機能拡張

参加者のうち団地居住者は約50%。電車で参加している方もおり、地域の交流の場となります。中には団地に引っ越しを検討している人もいます。
参加者のご子息からは「母親が元気になった」「一人暮らしだが居場所が出来て安心した」といった声をいただいています。
都心では近隣の関係性が希薄になりがちですが、参加者の需要に合わせた見守りサービス、生活サポートなど、相互補完を推進する事で関係性を深め、活気があり・安心できる・住みやすい街づくりに団地内外の住民同士の交流を通して貢献します。

免責事項及び開示タイミング

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。